

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677400121
法人名	有限会社セントロメディコ
事業所名	グループホーム春華苑 第1
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町新富563-1番地 (電話) 0994-65-7299
自己評価作成日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年1月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・残存機能維持、向上を目指して個人に合わせた運動に取り組んでいる。
- ・一人ひとりの能力を活かして、その方にあった出来ることを行いながら、充実した一日を過ごして頂くけるように支援している。
- ・見取りケアを行っている。  
ご家族の承諾の元、終末期には家族とともに過ごせるように支援している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、閑静な肝付町の中心地新富地区に、平成14年に開設されている。広い敷地には法人母体の医療機関や居宅介護事業所、3ユニットのグループホーム等が設置されており、これらの事業所は法人本部が中心になって運営や情報を共有し、災害時の協力やイベント、研修等を合同で実施するなど、密に協力体制を構築している。周辺には中学校や商店、個人住宅等が立ち並び、町役場にもほど近くて利便性の良い立地である。地域密着型事業所として開設以来、地域との交流を大切に組み込んできており、自治会に加入して清掃活動や地域行事に参加し、散歩時の挨拶、施設見学、ボランティアによる慰問、友人知人の面会、実習生を積極的に受け入れ、隣接事業所の利用者とも交流する等、良好な関係を構築しているが、コロナ禍に配慮して、現在はボランティアの受け入れや施設イベントへの住民参加等は控えている。

管理者及び職員は、ホームの理念をホール入口等に掲示し、3グループホーム合同での朝礼時に唱和も行って周知を図り、利用者が地域と触れ合いながら、「相手の気持ち、ゆとりある雰囲気、心と心のふれあい」を大切に、利用者主体のケアに努めている。利用者及び家族からの意向や要望にも、職員会議等で協議して改善を図っており、信頼関係が築かれている。利用者の心身の状態や生活習慣、ペース等に配慮し、意向に沿って趣味(ぬり絵、昔の音楽やビデオ視聴他)など個別の支援にも努めて、安全で生きがいのある暮らしとなるよう、日々取り組んでいる。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日常の業務の中や職員会議等で意見要望を出し合っている。休憩時間を確保し、勤務シフトには心身の状況や家庭的事情、有給休暇の取得等に配慮するなど、サービスの向上や働きやすい職場環境の整備に努めており、資格取得に向けての勉強会では前回、資格取得した職員が指導者を務めるなど工夫して効果を上げている。法人による給与体系や福利厚生制度が充実しており、職員のモチベーションアップに繋がっている。

春華苑第1

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼時、理念の唱和を行い共有している。	理念は目に付き易いホール入口の廊下に掲示し、朝礼時に唱和して周知を図り、また、職員会議やケアカンファレンス時に振り返りや実施状況の確認等で認識を共有し、毎月の目標も設定して理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	大きな行事などの時は、地域の方に声かけし、参加して頂いている。 苑だよりを月1回、地域の方にも配布している。 コロナ禍の為、地域のお茶会も開催されていない。	町内会に加入し、月1回の清掃活動への参加や、パーテーションを活用しての面会、散歩時の隣接事業所の利用者や職員との挨拶、住民からの差し入れ、電話や来訪による相談への対応等の交流に努めている。コロナ禍のため現在は、買い物、外出、外食、ボランティアの受け入れ、ホームの敬老会等への地域の人の参加等は控えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議などで、報告、連絡している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行っている。 推進委員の意見を取り入れ活かしている。	会議は年6回、隣接の3グループホーム合同で定期的開催しているが、コロナの感染状況によっては一堂に会することは控えて、ホームの運営や行事、利用者の状況等の資料の配布による書面での会議（昨年は4回）としている。行政や委員から寄せられた意見等は、全員で検討して改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や訪問調査などで伝え、意見も伺っている。</p>	<p>町の担当者には役場窓口に出向いた際や電話、メールで相談している。介護保険の更新や各種制度に関する報告や協議、感染症予防に関する協議や消耗品等の交付申請等を行い、助言、指導、提案を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。メールや電話による町からの情報の取得に努め、グループホーム連絡会主催のリモートによる研修にも参加して、運営やサービスの向上に繋げている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束しないケアに取り組んでおり、やむおえない場合は、家族の了解を得るようにしている。</p>	<p>身体拘束適正化については指針を整備しており、適正化を図る権利擁護委員会も法人本部の介護部で昨年4月に設置して研修の実施や拘束の無いケアの方法等を話し合っている。身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会や身体拘束ゼロ委員会も隣接の3グループホームで計画的に実施して認識を共有している。不適切なケアや言葉遣いには、助言し合って改善を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修、勉強会、カンファレンスなどを行い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修、勉強会、カンファレンスなどを行い、虐待防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分に説明を行っている。 家族会等を利用し説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートなどで出た意見や要望を改善できるように取り組んでいる。	日頃から、利用者や家族との信頼関係を大切に、気軽に意見を言って貰えるように配慮している。利用者の思いは日頃の関りの中で汲み取り、家族からは面会（コロナ禍に配慮してバーテンション越し）や電話、メール、LINE等で意見を聴いている。また、毎月発行の苑便りやリモート、LINEを週1回発信して利用者の実態を伝え、意見や要望を貰うように努めている。職員は出された意見を共有し、職員会議等で協議して改善に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング時や日々の業務の中で意見を聞く機会を設けている。 又、職員同士で自由に意見交換が出来、業務改善等行っている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を構築し、日頃の業務の中やミーティング時に意見や要望を出し合い、また、定期（年2回）の個別面談や状況に応じて随時、面談も行って改善に取り組んでいる。ケアに関する助言・指導やスキルアップを図る研修を実施し、休憩時間（1時間）を確保し、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情も配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得に応じて、手当・給与の見直しを行われている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者から代表者への報告で、職員一人ひとりを把握している。研修会等にも参加する機会を設け、スキルアップをはかれるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の研修会を通して、交流する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	大きな行事などの時は、地域の方に声かけし、参加して頂いている。 苑だよりを月1回、地域の方にも配布している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	オンラインを活用した状況報告で入居者の様子を伝えたり、会話をしたりして、家族が要望・意見を言いやすい雰囲気づくりができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と話をしたり、家族の要望・意見も聞きながら必要としている支援を見極めるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のレベルに合わせて、出来ることをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	オンラインを活用し、週に分けて動画や写真、テレビ電話提供する事で、本人と共に支えあう家族との関係を支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、コロナ禍の為、面会制限があり、一緒に過ごしたりすることはできていない。	利用者ごとの馴染みの情報を把握して、感染予防対策を徹底したうえでパーテーション越しの短時間の面会や隣接事業所の利用者との交流、訪問美容、少人数でのドライブ等を取り組んでいるが、コロナ禍に配慮して、一時帰宅や外泊、会食、外食、墓参、ボランティアの受け入れ等は控えている。家族との電話やメール、手紙、プレゼント等を取り次ぎ、また、苑便り等も送付して利用者の状況を伝える等、可能な限り関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールでの席替えなどをし、気の合う方を近くにしたり、会話の好きな方同士が話をできる場所作りにも努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから連絡を行うことはないが、連絡等あった際は対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で把握できるように努めているが、わからないときなどは、カンファレンスなどで話し合っている。	入所時の情報や、日頃の会話、表情、仕草等から利用者の思いを汲み取り、家族の意向も確認しながら利用者主体の生きがいのある生活となるように取り組んでいる。趣味（ぬり絵、音楽やテレビ視聴、読書他）や洗濯物たたみ、お盆拭きなどの取り組みも、利用者の意向や心身の状況に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には感謝等の言葉を添えて自己肯定感の修得に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人がわからない時などは、家族に聞いたりしながら把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	声掛けをしたり、行動や状態観察などに努め、申し送りなどでも把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的、変化時にカンファレンスを行い、また、主治医などの意見も聞きながら計画作成している。	日頃の関わりの中で利用者や家族の思いや意向を把握し、主治医や理学療法士の指示や毎月実施のモニタリングでの職員の意見等を基に、残存機能や習慣、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には計画を実態に沿って変更し、利用者や家族の理解を得て改善に取り組んでいる。実施状況はバイタルチェック表や業務日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや記録などで情報を共有して、変化時にはみんなでカンファレンスを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、ていつ々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の変化に対応しながら、状態に応じた支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事がある時は、参加して頂けるようにしている。 現在は、コロナ禍の為出来ない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の定期的な往診、訪問看護による状態観察を支援している。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、入所者の殆んどが協力医療機関を主治医としている。主治医による定期的な訪問診療と訪問看護が実施され、他科受診についてはコロナ禍を憂慮してホーム職員が同行している。協力医療機関との医療連携の体制が構築され、日頃から衛生や健康管理を徹底しており、健康状態を家族にも密に報告することで、利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と連携をとりながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、病院側の看護師などと連絡と取りあうようにしている。面会を兼ねて状態を把握できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族・主治医・訪問看護・スタッフでカンファレンスを行い、これからの方針を共有し支援している。	看取り対応の指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ており、入所後も利用者の状態変化に応じて意向の確認や話し合いを実施している。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、主治医や看護師と連携して可能な限り希望に沿った支援に取り組んでおり、昨年も3件の看取りを実施している。看取り実施中や看取り後も、他の利用者は動揺することもなく普通に生活している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や研修などで学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に、消防訓練、水害・地震避難訓練等を実施している。地域へは、なかなか協力体制が出来ていない。</p>	<p>夜間発生を想定した火災や風水害、地震対応の災害訓練を隣接の3グループホーム合同で2回づつ（年6回）消防団の協力も得て実施している。また日常的に避難経路や消火器の設置場所、AED操作等の確認を行って、防災への対応を共有している。食料や飲料水は3日分を備蓄し、カセットコンロやラジオ、懐中電灯等も備えている。隣接する他の事業所との災害時の協力体制も構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会で学んだり、スタッフ同士でもお互い声かけを行い注意している。	利用者の人格の尊重やプライバシーの保護については重要事項等に明記され、計画的な研修の実施やケアの振り返り、意見交換等で認識を共有している。利用者の個性、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重し、理念の「利用者の気持ちを大切にした支援」に努めており、入室時のノックの励行や、排泄や入浴時の声掛け等は羞恥心にも配慮したトーンや言葉遣いで取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に声掛けし、出来ることは自分で決めて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調、気分を見ながら声かけし、本人の思いに沿った支援をしている。無理はさせないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ドライブ・外出時などは、本人の気にいった服などを選んで頂くよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台ふきなど手伝って下さる。季節の果物を提供し季節を感じて頂いている。	通常、炊飯以外はすべて外部の業者に委託している。季節感を大切に、おせちや敬老会、クリスマス会等の行事食や外注を中止しての恵方巻、弁当購入による園庭での昼食やお茶、手作りのおやつ、頂いた野菜で漬物作り、餅つき、そば打ち等、食事が楽しみとなるように日々工夫しているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食、弁当持参のドライブ等は自粛中である。利用者もお盆拭き等を楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量や食事形態をスタッフが共有し、工夫して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けし、付き添いや見守りで行っている。 また、磨き残しがあったりするため後から確認・洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間帯などは、センサー対応、ポータブルトイレなど個人に合わせた支援を行っている。	利用者の自尊心や習慣、羞恥心等に配慮し、身体の状態やパターンに応じた支援をプランに反映させて改善に取り組んでいる。昼間は声掛けや誘導等で可能な限りトイレでの排泄を支援し、夜間はポータブルトイレ等を使用する利用者もいる。介護用品やケアの方法を工夫し、便秘の予防には植物繊維の多い食事や乳製品、水分の摂取、運動量に配慮しており、状況によっては主治医にも相談して対処している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	調理の工夫をしたり、水分を多めに摂って頂いている。 主治医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴する順番などを本人の取り入れたり、状況に応じて対応している。入りたくない時は無理はしない様になっている。	基本週3回、個浴での入浴を支援しているが、必要時には、その都度、シャワーや温タオルで保清している。順番や温度、時間、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応して楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、清拭への変更や時間、声かけ等を工夫するなど利用者自身の意欲を待つて支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活スタイルに合わせている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全部は理解できていないが、状態に応じて、カルテなどで確認し、主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事・レクリエーションなどで気分転換を図ったり、出来る手伝いをして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	行事以外は、苑庭での散歩など行っている。	コロナ禍の為制限はあるが、感染予防対策を徹底して周辺の散歩や苑庭での日光浴、菜園の野菜を眺めたり花の水やりなど、利用者の状況に応じて工夫しながら楽しんでいるが、一時帰宅や外泊、外食、墓参等の外出は控えている。地域のイベントも殆ど中止され、ホームの行事も十分には実施できない現状であるが、室内での軽い体操やゲーム、音楽・ビデオの視聴等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ドライブなどで買い物をする場所に行く際は、家族より預かって支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人が希望される時、家族が遠方の方には、時々スタッフの支援で電話している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールではテレビをつけたり、音楽をかけたりしている。季節の花を飾ったり、クーラーなどで温度調節も行っている。	利用者が昼間の殆どを過ごすホールは、天井が高く天窓も設置されて明るく余裕あるスペースが確保されており、テーブルやソファ、テレビ、空気清浄機等が利用者の利便性や動線に配慮して設置されている。利用者の作品や写真、季節感のある活花等が随所に飾られて和やかな雰囲気になっている。清掃や空調、整理整頓を徹底し感染症予防のための手指消毒剤等も設置されており、不快に感じる音や臭い等もなく、利用者は四季を感じながら平穩に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合って利用者同士で話ができるように席を考えたり、希望を聞いたりして居場所を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの物を置いたり、家族の写真などを貼ったりしている。</p>	<p>自室を迷うことの無いように各居室の入り口には、ひらがなで名前が表示されている。居室はフローリングと畳部屋の2種類があり掃出し窓の構造で明るく、余裕ある広さが確保されており、ベッド、エアコン、タンス、テレビが全室に備えてある（1ユニットにはトイレも設置されている）。利用者は在宅時に愛用していた寝具や、家族写真、茶器セット、小物等を持ち込み、自身の作品も飾るなど、その人らしい寛げる居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを設置したり、移動しやすいような環境づくりをしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない